

授業科目(ナンバリング)	教育学(AB107)			担当教員	乙須 翼		
展開方法	講義 (遠隔)	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
本授業は、受講者が日本社会の抱える教育課題に興味・関心を持ち、ニュースや新聞などで報道される教育問題に対して、自分なりにその問題点を考察し、改善策を提案できるようになることを目標としている。また本授業を通じて、受講者が教育と社会（歴史・思想・宗教・文化・経済など）との密接なつながりを理解し、教育という窓を通じて、日本社会全体や世界の問題へと興味・関心を広げていけるよう導きたい。なお、上記を達成するため、本授業では毎回レポートの作成と提出を全受講生に求める。							④⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力	・教育学の基礎的事項を習得し、基本的語句の意味を説明することができる。				随時試験	20 %	
情報収集、 分析力	・毎授業で学んだ重要語句や概念を、指定された形で受講シートに整理・要約することができる。 ・授業で学んだ事項に関する新聞記事を、指定された方法で収集し、批評や考察を加えることができる。 ・日本社会の教育課題に対して、授業で学んだ知識や自らの経験に照らし合わせて、その問題点を指摘し、改善策を提案することができる。				レポート 新聞記事提出	35 % 15 %	
コミュニケーション力	・設問に対する解答や自分の見解を、適切な語句や表現を用いて論理的に説明することができる。				随時試験	20 %	
協働・課題解決力	・日本社会が抱える子どもや教育、家族に関わる教育課題に関心を持つことができる。				レポート	5 %	
多様性理解力	・日本や世界の子ども達がおかれている状況、ならびに国による教育の違いに興味を持つことができる。				レポート	5 %	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
レポートには毎授業後、テーマに関して、理解できたこと、初めて知ったことや考えたこと、疑問に思ったことや知りたいことなどを記入してもらう。レポートを通して、授業内容の理解と基本知識の定着を図るとともに、自分の意見や考えを文章でまとめていく力を受講生には修得してもらいたい。また受講生には、レポートの見直しによって、自身の考察の深まりを確認してもらいたい。レポートについては、前学期中、何度か評価点と作成方法に関するアドバイスやコメントをフィードバックする。評価は上記到達目標に基づいて行う。なお、レポートの未記入や未提出については減点を行なう。確認テスト（随時試験）については、教育学の基礎的事項の確認と、それら授業で習得した知識や自身の経験を基にした考察の適切性・論理的妥当性・独自性、および問題点の指摘や改善提案の具体性などを評価するための問題を出題する。出題の形式は、用語の確認、用語の説明、記述式問題とする。							
授 業 の 概 要							
授業は下記テーマについてスライドや配付資料等を用いて説明する形で進める。また、欠席学生や復習用としてスライドは授業後、ポートフォリオにアップする。 ・「子ども」の歴史に触れ、教育学に対する興味を深める。 ・日本の学校教育制度の成り立ちとその基本的特徴を、世界の学校教育制度とも比較しながら理解する。 ・現代の日本社会が抱える教育課題について理解し、その背景や問題点を考える。 ・世界の子どもの状況を知り、世界が抱える教育課題について考える。 なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書・参考書：特に指定しない。 指定図書：木村・小玉・船橋著『教育学をつかむ【改訂版】』有斐閣 2019年							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「教育」は、受講生がこれまで、そして現在も経験している身近な営みである。したがって受講生には、講義をただ聞くだけでなく、レポートの作成などを通して常に自身の経験と照らし合わせながら、毎回のテーマについて考えを深めてもらいたい。また受講生には、新聞やニュースなどで報道される教育問題に常に興味を持ってもらいたい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	教育学とは	教育学の領域とその学問的特徴	予)シラバスの確認 復)レポートの記入方法の確認
2	世界の子ども達①	世界の子ども達の生活	予)授業内容に関するニュースや新聞記事の検索 復)エセ7 HP の閲覧
3	子どもとは①	子ども観の歴史 (西欧)	予)自分の子ども観の整理 復)授業中に理解できなかった歴史用語の復習
4	子どもとは②	子ども観の歴史 (西欧)	予)第3回授業の復習 復)授業中に理解できなかった歴史用語の復習
5	子どもとは③	子ども観の歴史 (日本)	予)第4回授業の復習 復)子ども観の歴史に関する3回の講義の復習
6	学校とは①	日本の学校教育の成り立ち	予)第5回授業の復習 復)学校教育の歴史の復習
7	学校とは②	教育を支える理念と法	予)教育に関する法律には何があるか考えてみる 復)教育基本法の復習
8	学校とは③	日本の学校教育制度の特徴	予)日本の学校教育制度の特徴を考えてみる 復)学校教育制度の復習
9	日本の教育課題①	教育改革と学校	予)教育改革に関するニュースや記事の検索 復)興味を持った教育改革について調べてみる
10	日本の教育課題②	不登校・いじめ・体罰	予)3つのテーマに関するデータの検索 復)特に興味を持ったテーマについて調べてみる
11	日本の教育課題③	学力論争	予)学力に関するニュースや記事の検索 復)自分が受けてきた教育の特徴を整理してみる
12	日本の教育課題④	貧困と教育格差	予)子どもの貧困に関するニュースや記事の検索 復)子どもの貧困に関するデータの検索
13	日本の教育課題⑤	教育とジェンダー	予)ジェンダーの意味を調べてみる 復)学校の中のジェンダーについて整理してみる
14	世界の子ども達②	子どもの人権	予)子どもの人権には何があるか考えてみる 復)権利条約の復習
15	世界の子ども達③	地球市民を育てる教育 (授業後半に確認テスト)	予)地球市民の意味を調べてみる 復)全15回の授業を振り返る